

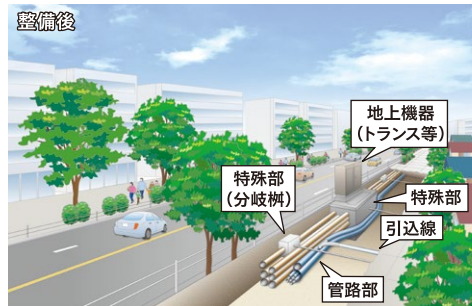
# 無電柱化整備の推進

道路の地下空間を活用して、電力線や通信線などをまとめて収容する電線共同溝などの整備による電線類地中化により道路から電柱をなくしていくものです。

無電柱化をしていくことによって、信号機や道路標識の視認性が向上し、交通の安全が図られます。また、電柱が無くなることにより、狭かった歩道が広くなり、歩行者や車椅子を利用する人にとってより安全な環境となります。



## 整備イメージ



- 管路部：電力や通信用のケーブルを収容する管路
- 特殊部：宅地への供給ケーブルを接続したり分岐させる場所
- 引込管：宅地への供給ケーブルを収容する管路
- 地上機器：電力の変圧器などを収容するボックス

## 整備効果

### 01. 良好な景観形成、観光振興

地上に張り巡らされた電線類がなくなり、美しい街並みが形成されます。



### 02. 通行空間の安全性、快適性の確保

見通しがよくなり、交通の安全性が向上します。また、歩道も十分に確保され、安全で利用しやすい歩行空間が形成されます。



### 03. 道路の防災性能の向上

台風や地震などの災害時に、電柱が倒れたり、電線類が垂れ下がったりするといった危険がなくなります。

